



にししやう

西小だより

ホームページはこちら→



「強く 正しく 健やかに」 令和5年 8月29日(火) 第8号 校長 都外川 潔
今年度は学校創立150周年。そして、コミュニティスクール1年目です。

平和の大切さ

昨日の始業式では、こんな話をしました。

今日は、私の夏休みの思い出について話しますね。

私は、以前から行きたいと思っていた、あるところへ行ってきました。そこは、長崎とつながりがある県です。ヒントは8月6日です。わかった人はいますか？

そうですね。広島です。広島市は、今から78年前に長崎市とともに原子爆弾の被害にあった場所です。これ(写真①)は、原爆が落とされた後の広島市の様子です。ここで暮らしていた人々は、一瞬で命を奪われたり、ひどいけがをして何年も苦しんだりされました。そして、これ(写真②)は、今の広島市の様子です。ひとつだけ、さっきの写真にあった建物がありません。

これは、原爆ドームと呼ばれています。原爆の悲惨さを伝えるために残されています。建物の周りには、今もがれきが残っています。(写真③)実際にこの場所へ行くと、戦争の恐ろしさや人々の悲しみが伝わってきました。また、その近くには平和記念資料館があり、入口の前には長い列ができていました。驚いたのは、外国人の方がとても多かったことです。展示されている亡くなった方の遺品を見て、外国の方もハンカチを目にあてておられました。原爆を落とした国はアメリカですが、今は日本とは友好国です。私もアメリカ人の友だちがいます。戦争では、日本もアメリカもお互いにひどいことをしてしまいましたが、その理由の一つに、お互いのことをよくわかっていなかったということがあったと思います。

平和な世の中にしていくために私たちができることは、まずは、相手のことを理解しようとするのだと思います。私たちは何かトラブルになったとき、つい、相手がよくないと決めつけてしまいがちですが、自分の考えは本当に正しいのか、しようとしていることは間違っていないのか、自分を振り返ることが大切だと思います。

互いに人を思いやることで、暮らしやすい世の中をつくっていきましょう。

写真①



写真②



写真③

